

資料編

1 アンケート調査票

1) DV被害者向け

なごやし
名古屋市配偶者からの暴力（DV）被害者及び
困難な問題を抱える女性に関するアンケート調査

この度名古屋市では、次期DV防止等基本計画及び女性支援新法に基づく市町村基本計画の一体的な計画の策定に向け、本市地域における配偶者からの暴力（DV）被害者及び困難な問題を抱える女性の現状と課題等を把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、DV被害者の方々等の状況やニーズなどをお伺いするものであり、DV被害に遭われた方々への今後の支援を検討するために、大変貴重な資料となります。

個人情報やプライバシーに関わる情報は守られ、本調査以外に使用することはありません。また、アンケートによって気持ちが辛くなった場合などはその時点で回答を終了していただいても構いません。

趣旨をご理解いただき調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月

ご回答にあたって

名古屋市子ども青少年局

- ・この調査はWEBもしくは紙の調査票、どちらでもご回答いただけます。
- ・WEBでご回答いただいた場合は、調査票をご返送していただく必要はありません。
- ・アンケート回答の所要時間は15分程度です。

WEB回答について

- ◆WEBで回答する場合は、右の二次元コードを読み取っていただくか、URL「<https://src.webcas.net/form/pub/src/23100b>」からWEBページにアクセスしてご回答ください。



調査票（紙）回答について

- ◆調査票（紙）で回答する場合は、鉛筆やペンでご回答ください。
回答記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストまたは郵便局で投函してください。切手は不要です。

回答期限：令和6年9月27日（金）

期限までのWEB回答または投函にご協力くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先：（株）サーベイリサーチセンター 名古屋事務所

「名古屋市DV被害者及び困難な問題を抱える女性に関する調査」事務局

電話：052-561-1256

メール：ngy_zyosei@surece.co.jp

※本調査は名古屋市の委託を受けてサーベイリサーチセンターが実施しています。

回答方法

- ・この調査票に、鉛筆やペンで直接、記入してください。
- ・設問ごとに、選択する回答の番号に、○印を記入してください。
- ・設問に特に記載のないものは、あてはまるものを、ひとつだけ選択してください。
- ・設問に「あてはまるものすべて」と記載のあるものは、あてはまるものを、複数選択できます。

問0 このアンケート調査を受け取った支援機関・団体名をご記入ください。

()

※以下、無理のない範囲でお答えください。

問1 あなたの年齢を教えてください。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | |

問2 あなたの性別を教えてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問3 お子さんをお持ちで、お子さんと同居されている方にお聞きします。あなたの
お子さんの年齢にあてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべて)
お子さんをお持ちでなかったり、お子さんと同居されていない方は「子ども
はいない、同居していない」に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-------------------------|
| 1. 0～就学前 | 5. 19歳～24歳 | 9. 50歳以上 |
| 2. 小学生 | 6. 25歳～29歳 | |
| 3. 中学生 | 7. 30歳～39歳 | 10. 子どもはいない、
同居していない |
| 4. 中卒～18歳 | 8. 40歳～49歳 | |

問4 あなたのお仕事を教えてください。複数の仕事をしている場合には、主なお
仕事(労働時間が最も長い仕事)についてお答えください。専業主婦の方や
学生でアルバイトなどをしていない場合は「就労していない」に○をつけて
ください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 正規職員・従業員 | 7. 内職 |
| 2. パート | 8. 会社・団体の役員 |
| 3. アルバイト | 9. 就労していない |
| 4. 派遣社員・契約社員・嘱託職員 | ⇒ 就労していない方にお伺いします。 |
| 5. 自営業主 | 現在、ア. 求職中 |
| 6. 自営業の手伝い(家族従業者) | イ. 求職していない |

問5 あなた自身の今の年収について教えてください。手取りではなく、税金や社会保険料などを含めた総支給額でお答えください。(手取りが230～240万円くらいの方の年収はおよそ300万円です。) なお、公的年金・恩給、雇用保険、児童手当等、その他の社会保険保障給付金は含みません。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. なし | 5. 300～500万円未満 |
| 2. 100万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 3. 100～200万円未満 | 7. 700～1,000万円未満 |
| 4. 200～300万円未満 | 8. 1,000万円以上 |

問6 あなたは生活費をどのようにまかなっていますか。(あてはまるものすべて)

1. 就労
2. 生活保護
3. 児童手当
4. 児童扶養手当
5. 障害年金
6. 老齢年金等(国民年金・厚生年金・共済年金など)
7. 婚姻費用
8. 養育費
9. 実家・親族からの援助
10. 奨学金
11. 預貯金の取り崩し
12. その他()

問7 あなたは現在生活している家庭の家計の状況をどのように感じていますか。

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. ふつう
4. やや苦しい
5. 大変苦しい

問8 ここ1カ月くらいの最近の体調を教えてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 良い | } 問9へ |
| 2. まあまあ良い | |
| 3. ふつう | |
| 4. 少し悪い | } 問8-1へ |
| 5. 悪い | |

問8で「4. 少し悪い」「5. 悪い」と答えた方にお聞きします。

問8-1 現在受診している医療機関の診療科目を教えてください。

(あてはまるものすべて)

受診している医療機関がない場合は、「受診していない」に○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1. 精神科 | 5. 産婦人科 | 9. 耳鼻科 |
| 2. 整形外科 | 6. 眼科 | 10. その他 () |
| 3. 内科 | 7. 脳外科 | 11. 受診していない |
| 4. 外科 | 8. 皮膚科 | |

問9 あなたは現在、ストレスや生きづらさを感じていますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. とても感じる | 4. あまり感じない |
| 2. まあまあ感じる | 5. 感じない |
| 3. 少し感じる | |

問10 あなたは、現在、心理的ケア（カウンセリングなど）を受けていますか。

1. 受けている ⇒
- ア. 週に1回程度
 - イ. 月に1～2回程度
 - ウ. 数ヶ月に1回程度
2. 受たいが受けられない ⇒ (その理由)
3. 受けていない

問11 あなたが18歳になるまでの環境を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 家族と暮らしていた ⇒ 問11-1へ
2. 親と離れて祖父母や親せきと暮らしていた ⇒ 問11-2へ
3. 施設や里親のもとで暮らしていた ⇒ 問11-3へ
4. その他 () ⇒ 問12へ

問11で「1. 家族と暮らしていた」と答えた方にお聞きします。

問11-1 その期間で以下のような経験がありましたか。(あてはまるものすべて)

1. 父から母への暴力があった
2. 母から父への暴力があった
3. 親や兄弟姉妹からあなたへの暴力があった
4. 家族内の人間関係が険悪だった
5. 上記のような経験はなかった

問11 で「2. 親と離れて祖父母や親せきと暮らしていた」と答えた方にお聞きします。

問11-2 その期間で以下のような経験がありましたか。(あてはまるものすべて)

1. 祖父から祖母への暴力があった
2. 祖母から祖父への暴力があった
3. 一緒に暮らしている親せきの間で暴力があった
4. 祖父母や親せきからあなたへの暴力があった
5. 暮らしている家庭内の人間関係が険悪だった
6. 上記のような経験はなかった

問11 で「3. 施設や里親のもとで暮らしていた」と答えた方にお聞きします。

問11-3 その期間で以下のような経験がありましたか。(あてはまるものすべて)

1. 施設職員や施設入所者、里親からあなたへの暴力があった
2. 施設職員や施設入所者、里親からあなた以外への暴力があった
3. 暮らしている環境での人間関係が険悪だった
4. 上記のような経験はなかった

ここからは、あなたが経験した「配偶者（相手方）からの暴力」についてお聞きします。答えたくないものはお答えいただかなくても構いません。

「配偶者（相手方）」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）も含まれます。

暴力の種類には、身体的暴力、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力があります。

問12 あなたが受けた暴力を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 身体的暴力（殴る、蹴る、物を投げつけるなど）
2. 精神的暴力（無視する、大声で怒鳴る、ばかにする、行動を監視するなど）
3. 経済的暴力（十分に生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、仕事につかせないなど）
4. 性的暴力（嫌がっているのに性行為をする、避妊に協力しないなど）

問13 あなたが受けた暴力の影響によって、あなたが経験したものを教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 相手方や暴力に関連するものに対して、怯えるようになった
2. 自分には価値がないと思えたり、自己評価が低下した
3. 考えがまとまらなくなった
4. 無気力になった
5. 不眠になった
6. 頭痛・めまいが起きるようになった
7. 食欲が低下した
8. 身体や精神が自分から切り離される感覚になった(乖離が起きるようになった)
9. アルコール依存になった
10. 起きていられなくなった
11. 過食症になった
12. 拒食症になった
13. その他 ()

問14 お子さんをお持ちの方にお聞きします。暴力のある環境で育ったお子さんに見られた影響を教えてください(あてはまるものすべて)。お子さんをお持ちでない方は「14. 子どもはいない」に○をつけてください。

1. 相手方を憎んだり、恐れたりするようになった
2. 子ども自身が暴力を振るうようになった
3. 性格や情緒がゆがんだ
4. あなたを憎んだり、恐れるようになった
5. 周りの世界を遮断するようになった
6. 不登校になった
7. 生活の乱れや非行に走った
8. 無気力・無感動になった
9. 自傷行為をするようになった
10. ノイローゼになった
11. 低身長・低体重など体の成長が遅れた
12. その他 ()
13. わからない
14. 子どもはいない

問15 お子さんをお持ちの方にお聞きします。相手方は、お子さんに対して虐待的言動をしましたか。お子さんをお持ちでない方は「4. 子どもはいない」に○をつけてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. した | 3. わからない |
| 2. しなかった | 4. 子どもはいない |

あなたに暴力を振るった配偶者（相手方）のことをお聞きします。答えたくないものはお答えいただかなくても構いません。

問16 相手方が18歳になるまでに育った環境について教えてください。複数該当する場合は、一番長く暮らしていた環境に○をつけてください。

1. 家族と暮らしていた
2. 親と離れて祖父母や親せきと暮らしていた
3. 施設や里親のもとで暮らしていた
4. その他（ ）
5. わからない

問17 相手方が18歳になるまでに育った環境で、一緒に暮らしていた人との間で暴力や関係が険悪になることはありましたか。

- | | | | |
|--------|---------|----------|--------|
| 1. あった | ⇒問17-1へ | 2. なかった | } 問18へ |
| | | 3. わからない | |

問17で「あった」と答えた方にお聞きします。

問17-1 それはどのようなことですか。（あてはまるものすべて）

1. 父から母への暴力があった
2. 母から父への暴力があった
3. 親や兄弟姉妹から相手方への暴力があった
4. 親や兄弟姉妹の間で暴力があった
5. 家族内の人間関係が険悪だった
6. 祖父母や親せきから相手方や相手方以外の人への暴力があった
7. 施設や里親の所で、相手方や相手方以外の人への暴力があった
8. その他（ ）

問18 あなたが受けた暴力に関してどこかに（誰かに）相談してから、相手方から実際に離れるまで1年以上かかった方はその理由を教えてください（あてはまるものすべて）。相手方から離れていない、離れているが離れるのに1年以上かかっていない方は「18.相手方から離れていない、離れているが離れるのに1年以上かかっていない」に○をつけてください。

1. 経済的な不安があったから
2. 離婚は避けたいと思ったから
3. 子どものため、ひとり親になるのは避けたいと思ったから
4. 子どもに転校等をさせたくないと思ったから
5. 子どもを自分一人で育てることに不安があったから
6. 逃げて相手方に見つかり、よりひどい暴力を受けると思ったから
7. 自分が逃げると身内に危害が及ぶと思ったから
8. 暴力等の原因が自分だと思っていたから
9. 暴力だという認識がなく、問題だと思わなかった
10. 逃げる気がなかったから
11. 周りに支援者がいないから
12. 相手方が暴力を振るわないように変わってくれることを期待したから
13. 相手方は優しいときもあるから
14. 相手方が自分を必要としていると思ったから
15. 自分が逃げると相手方が自殺するかもしれないと思ったから
16. その他（ ）
17. わからない
18. 相手方から離れていない、離れているが離れるのに1年以上かかっていない

問19 初めて暴力を受けた人が速やかに自分を守ったり、必要な支援につながるためには、あらかじめどのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

1. DVやデートDVに関する教育、意識啓発
2. 法律や手続きに関する情報
3. 相談窓口や支援策の周知
4. その他（ ）
5. 特にない

問20 暴力を受けた人が、相手方から離れるまでの期間の支援として、あなたの経験からどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)

1. DVやデートDVに関する教育、意識啓発
2. 法律や手続きに関する情報
3. 相談窓口や支援策の周知
4. 安心できる一時的な居場所
5. 自立に向けて数年ほど生活できる場所(ステップハウス)
6. 生活資金の貸付
7. 仕事探し
8. 住まい探し
9. 自分の心のケア
10. 子どもの心のケア
11. 暴力を振るわないようにするための加害者向けプログラムの実施
12. 同じ思いを分かち合える仲間との交流
13. 通訳
14. その他()

問21 暴力を受けた人が相手方から離れて1年以内の間の支援として、あなたの経験からどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)

1. DVやデートDVに関する教育、意識啓発
2. 法律や手続きに関する情報
3. 相談窓口や支援策の周知
4. 安心できる一時的な居場所
5. 自立に向けて数年ほど生活できる場所(ステップハウス)
6. 生活資金の貸付
7. 仕事探し
8. 住まい探し
9. 自分の心のケア
10. 子どもの心のケア
11. 暴力を振るわないようにするための加害者向けプログラムの実施
12. 同じ思いを分かち合える仲間との交流
13. 通訳
14. その他()

問22 暴力を受けた人が相手方から離れて1年以上経った後の支援として、あなたの経験からどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)

1. DVやデートDVに関する教育、意識啓発
2. 法律や手続きに関する情報
3. 相談窓口や支援策の周知
4. 安心できる一時的な居場所
5. 自立に向けて数年ほど生活できる場所（ステップハウス）
6. 生活資金の貸付
7. 仕事探し
8. 住まい探し
9. 自分の心のケア
10. 子どもの心のケア
11. 暴力を振るわないようにするための加害者向けプログラムの実施
12. 同じ思いを分かち合える仲間との交流
13. 通訳
14. その他（ ）

問23 あなたが知っている相談機関と、暴力の被害を相談した機関をそれぞれ教えてください。(あてはまるものすべて)
また、選択した相談機関のうち、初めに相談した機関を教えてください。

	知っている ところ 所	相談した ところ 所	初めに相談 したところ 所
警察	1	1	1
配偶者暴力相談支援センター	2	2	2
女性相談支援センター	3	3	3
男女平等参画推進センター	4	4	4
市役所、区役所支所、町村役場 (社会福祉事務所)	5	5	5
保健センター(保健所)	6	6	6
医療機関	7	7	7
児童相談所	8	8	8
弁護士	9	9	9
法テラス	10	10	10
民間支援団体	11	11	11
その他（ ）	12	12	12

→ 問23-1へ

問23 の「知っているところ」などで、「配偶者暴力相談支援センター」「女性相談支援センター」「男女平等参画推進センター」「市役所、区役所支所、町村役場（社会福祉事務所）」のいずれかを「知っている所」として選択した方にお聞きします。

問23-1 あなたが選択した相談機関をどのように知りましたか。

(あてはまるものすべて)

1. 広報啓発のパンフレット、カードなど
2. 自治体のウェブサイト
3. 家族・親族や友人からのすすめ
4. インターネットの口コミ情報
5. 他の相談などからの紹介 ⇒ (どこから:)
6. その他 ()

問24 配偶者からの暴力(DV)被害を相談しやすくするための相談体制について、あなたが必要だと思うものを教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 同性の担当者の配置
2. 多言語での相談対応
3. 24時間利用できること
4. 相談していることを周りに知られないところ
5. 気軽に立ち寄れるところ
6. 1対1で話せるところ
7. 専門家が話を聞いてくれるところ
(専門分野: ア. 法律 イ. 心理 ウ. お金 エ. 住宅 オ. 学校
カ. 医療 キ. 仕事 ク. 栄養)
8. その他 ()

問25 その他、ご意見・ご要望などがあればご記入ください。

ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ ヒアリング調査

あ ん け と ち ょ う さ け っ か こんご し え ん ひ つ よ う は あ く
アンケート調査の結果から、さらに今後どのような支援が必要なのかなどを把握するため、
9月・10月にヒアリング調査(インタビュー調査)を行います。

ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ き ょ う り ゃ く ば あ い ど い い こ う か い ど う
ヒアリング調査にご協力いただける場合は、問27以降をご回答ください。

な お ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ き ょ う り ゃ く か た ぜ ん え ん そ う ど う し ゃ れ い わ た
尚、ヒアリング調査にご協力いただけた方には3千円相当の謝礼をお渡しさせていただきます。

ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ け っ か こ じ ん と く て い か た ち ほ う こ う し ょ う う え ぶ さ い と ど う
ヒアリング調査の結果は個人が特定されない形で報告書にとりまとめ、ウェブサイト等で
公表いたします。

き ょ う り ゃ く ね が
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

こ い ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ き ょ う り ゃ く
問26 ヒアリング調査にご協力いただけますか。

1. はい

2. いいえ→以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ れ ん ら く さ お し め い れ ん ら く さ き に ゅ う
ヒアリング調査についての連絡を差し上げますので、ご氏名・ご連絡先をご記入くだ
さい。

こ い な ま え き ん せ う
問27 お名前をご記入ください。

せ い () め い ()
姓 () 名 ()

こ い れ ん ら く さ き に ゅ う で ん け ず ぶ ん ぐ う め ー る あ ど れ す れ ん ら く
問28 ご連絡先をご記入ください。電話番号・メールアドレス・LINEのIDなど連絡
可能なものをいずれかご記入ください。

で ん け ず ぶ ん ぐ う
電話番号 (-)

め ー る あ ど れ す
メールアドレス (@)

LINE ID ()

そ の 他 ()

こ い ひ ぁ り ん ぐ ち ょ う さ し つ も ん よ う ぼ う き に ゅ う
問29 ヒアリング調査について、ご質問・ご要望などがあればご記入ください。

き ょ う り ゃ く い こ う か た た す う ば あ い ね ん れ い じ ょ う き ょ う か ん あ ん せ ん て い
※ 協力意向のある方が多数の場合、年齢や状況などを勘案し選定させていただく
ことがございます。ヒアリングの対象となった方には10月中旬までにご連絡差し
上げます。

2) 困難な問題を抱える女性向け

名古屋市

配偶者からの暴力（DV）被害者及び
困難な問題を抱える女性に関するアンケート調査

この度名古屋市では、次期DV防止等基本計画及び女性支援新法に基づく市町村基本計画の一体的な計画の策定に向け、本市地域における配偶者からの暴力（DV）被害者及び様々な状況の女性の現状と課題・ニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、女性の方々への今後の支援を検討するために、大変貴重な資料となります。個人情報やプライバシーに関わる情報は守られ、本調査以外に使用することはありません。また、アンケートによって気持ちが辛くなった場合などはその時点で回答を終了していただいても構いません。

趣旨をご理解いただき調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月

ご回答にあたって

名古屋市子ども青少年局

- ・この調査はWEBもしくは紙の調査票、どちらでもご回答いただけます。
- ・WEBでご回答いただいた場合は、調査票をご返送していただく必要はありません。
- ・アンケート回答の所要時間は15分程度です。

WEB回答について

- ◆WEBで回答する場合は、右の二次元コードを読み取っていただくか、URL「<https://src.webcas.net/form/pub/src/23100d>」からWEBページにアクセスしてご回答ください。



調査票（紙）回答について

- ◆調査票（紙）で回答する場合は、鉛筆やペンでご回答ください。回答記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストまたは郵便局で投函してください。切手は不要です。

回答期限：令和6年9月27日（金）

期限までのWEB回答または投函にご協力くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先：（株）サーベイリサーチセンター 名古屋事務所

「名古屋市DV被害者及び困難な問題を抱える女性に関する調査」事務局

電話：052-561-1256

メール：ngy_zyosei@surece.co.jp

※本調査は名古屋市の委託を受けてサーベイリサーチセンターが実施しています。

かいとうほうほう 回答方法

- ・この調査票に、鉛筆やペンで直接、記入してください。
- ・設問ごとに、選択する回答の番号に、○印を記入してください。
- ・設問に特に記載のないものは、あてはまるものを、ひとつだけ選択してください。
- ・設問に「あてはまるものすべて」と記載のあるものは、あてはまるものを、複数選択できます。

問0 このアンケート調査を受け取った支援機関・団体名・大学名をご記入ください。

()

※以下、無理のない範囲でお答えください。

問1 あなたの年齢を教えてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 5. 50歳代 |
| 2. 20歳代 | 6. 60歳代 |
| 3. 30歳代 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40歳代 | |

問2 あなたの最終学歴を教えてください。あてはまるところを1つだけ選んでください。

中学校	1. 卒業		
中学卒業後専門学校	2. 卒業	3. 中退	4. 在学中
	5. 休学中		
高校	6. 卒業	7. 中退	8. 在学中
	9. 休学中		
高校卒業後専門学校	10. 卒業	11. 中退	12. 在学中
	13. 休学中		
短期大学	14. 卒業	15. 中退	16. 在学中
	17. 休学中		
大学	18. 卒業	19. 中退	20. 在学中
	21. 休学中		
大学院	22. 卒業	23. 中退	24. 在学中
	25. 休学中		

問3 お子さんをお持ちで、お子さんと同居されている方にお聞きします。あなたのお子さんの年齢にあてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべて) お子さんをお持ちでなかったり、お子さんと同居されていない方は「子どもはいない、同居していない」に○をつけてください。

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 0～就学前 | 6. 25歳～29歳 |
| 2. 小学生 | 7. 30歳～39歳 |
| 3. 中学生 | 8. 40歳～49歳 |
| 4. 中卒～18歳 | 9. 50歳以上 |
| 5. 19歳～24歳 | 10. 子どもはいない、同居していない |

問4 あなたのお仕事を教えてください。複数の仕事をしている場合には、主なお仕事(労働時間が最も長い仕事)についてお答えください。専業主婦の方や学生でアルバイトなどをしていない場合は「就労していない」に○をつけてください。

1. 正規職員・従業員
2. パート
3. アルバイト
4. 派遣社員・契約社員・嘱託職員
5. 自営業主
6. 自営業の手伝い(家族従業員)
7. 内職
8. 会社・団体の役員
9. 就労していない

⇒ 就労していない方にお伺いします。 現在、
 ア. 求職中
 イ. 求職していない

問5 問4で選んだ仕事には、契約期間の定め(上限)がありますか。

1. 契約期間の定めはない
 2. 契約期間の定めがある
- ⇒ (契約期間の定めがある方にお伺いします。契約期間は、
 ア. 1年以上 イ. 1か月以上1年未満 ウ. 日々または1か月未満)

問6 直近一年間で半年以上継続している就労先がありますか。

1. ある
2. ない

問7 あなた自身の今の年収について教えてください。手取りではなく、税金や社会保険料などを含めた総支給額でお答えください。(手取りが230～240万円位の方の年収はおよそ300万円です。) なお、公的年金・恩給、雇用保険、児童手当等、その他の社会保険保障給付金は含みません。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. なし | 5. 300～500万円未満 |
| 2. 100万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 3. 100～200万円未満 | 7. 700～1,000万円未満 |
| 4. 200～300万円未満 | 8. 1,000万円以上 |

問8 あなたは現在、住民税は課税されていますか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 課税されている | 2. 非課税である |
|------------|-----------|

問9 あなたは現在生活している家庭の家計の状況をどのように感じていますか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 大変ゆとりがある | } 問10 へ |
| 2. ややゆとりがある | |
| 3. ふつう | |
| 4. やや苦しい | } 問9-1・2 へ |
| 5. 大変苦しい | |

問9で「やや苦しい」「大変苦しい」と答えた方にお聞きします。

問9-1 具体的にどのような家計状況ですか。(あてはまるものすべて)

- 食費を切り詰めなければならない
- 衣服費などを切り詰めなければならない
- 公共料金(水道、ガス、電気)や税金の支払いが大変
- 家賃の支払いが大変
- 貯金を切り崩しながら生活している
- 金融機関などからの借金・ローンや奨学金の返済が大変
- 趣味やレジャーの出費を減らさなければならない
- その他()

問9で「やや苦しい」「大変苦しい」と答えた方にお聞きます。

問9-2 家計が苦しいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 生活に必要な収入を得られるところに就職できなかった
2. 自分の失業や転職等で収入が減った
3. 家族の失業や転職等で収入が減った
4. 仕事を探しているが見つからない(失業中)
5. 家庭環境が変わって家計が苦しくなった(離婚、出産、子育て、子どもの進学、病気、介護等)
6. 家族に仕送りをしている
7. 借金やローンがある
8. 奨学金の返済がある
9. その他()
10. 理由はわからない

問10 あなたの現在の生活の満足度を教えてください。

1. 満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

問11 あなたは現在、ストレスや生きづらさを感じていますか。

1. とても感じる
2. まあまあ感じる
3. 少し感じる
4. あまり感じない
5. 感じない

問12 あなたは自分が他の人達から孤立していると感じることがありますか。

1. まったくない
2. ほとんどない
3. 時々ある
4. 常にある

問13 あなたは、現在、心理的ケア(カウンセリングなど)を受けていますか。

1. 受けている ⇒
 - ア. 週に1回程度
 - イ. 月に1~2回程度
 - ウ. 数ヶ月に1回程度
2. 受けたいが受けられない ⇒ (その理由)
3. 受けていない

問14 あなたが安心してできる時を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 家族という時
2. 友人・知り合い、交際相手などという時
3. SNSなどインターネット上の仮想空間とつながっている時
4. 一人でいる時
5. そのような時はない

問15 あなたは親と同居していますか。

1. 同居している ⇒問15-1へ
2. 同居していない ⇒問15-2へ

問15で親と「同居している」と答えた方にお聞きします。

問15-1 あなたは親とどのくらいのつながりがありますか。

1. 日常的な会話や相談ができるつながりがある
2. 必要事項の伝達程度のつながりがある
3. つながりがない
4. その他 ()

問15で親と「同居していない」と答えた方にお聞きします。

問15-2 あなたは親とどのくらいのつながりがありますか。

1. 日常的な会話や相談ができるつながりがある
2. 何かあれば連絡する程度のつながりがある
3. 連絡をとるなどのつながりがない
4. その他 ()

ここからは、あなたが経験した暴力についてお聞きします。答えたくないものはお答えいただかなくても構いません。

暴力には、殴る・蹴るなどの身体的暴力、人格を否定する・無視を続けるなどの精神的暴力、生活費を渡さない・仕事を制限するなどの経済的暴力、性行為の強要・避妊をしないなどの性的暴力があります。

「配偶者（相手方）」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）も含まれます。

問16 あなたは配偶者等や交際相手から暴力を受けた経験がありますか。(あてはまるものすべて) 配偶者等や交際相手がいたことがない場合は「配偶者等や交際相手はいたことがない」に○をつけてください。

1. 身体的暴力を受けた経験がある(殴る・蹴る・物を投げつけるなど)
2. 精神的暴力を受けた経験がある(無視する、大声で怒鳴る、ばかにする、行動を監視するなど)
3. 経済的暴力を受けた経験がある(十分に生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、仕事につかせないなど)
4. 性的暴力を受けた経験がある(嫌がっているのに性行為をする、避妊に協力しないなど)
5. 暴力は経験していない
6. 配偶者等や交際相手はいたことがない

問17 あなたは以下のような家族から暴力を受けた経験がありますか。(あてはまるものすべて)

1. 実父・義父
 2. 実母・義母
 3. 子
 4. きょうだい
 5. 祖父母
 6. その他()
 7. 暴力は経験していない
- 問17-1へ
⇒問18へ

問17で家族から暴力を受けた経験があると答えた方にお聞きします。

問17-1 あなたは家族からどのような暴力を受けたことがありますか。(あてはまるものすべて)

1. 身体的暴力を受けた経験がある(殴る・蹴る・物を投げつけるなど)
2. 精神的暴力を受けた経験がある(無視する、大声で怒鳴る、ばかにする、行動を監視するなど)
3. 経済的暴力を受けた経験がある(十分に生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、仕事につかせないなど)
4. 性的暴力を受けた経験がある(嫌がっているのに性行為をするなど)

問18 あなたはこの一年の間に、家族や配偶者と暮らしている期間がありましたか。

1. ある ⇒問18-1へ
2. ない ⇒問19へ

問18で「ある」と答えた方にお聞きします。

問18-1 家族や配偶者と暮らしている自宅に自分の居場所がないと感じたり、家族の問題行動などで負担を感じた経験がありますか。

1. ある ⇒問18-2・3へ 2. ない ⇒問19へ

問18-1で「ある」と答えた方にお聞きします。

問18-2 その理由を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 自分と家族の関係が険悪だから
2. 自分以外の家族同士の関係が険悪だから
3. 家族に引きこもり・非行・浪費・ギャンブル依存等があるから
4. 家族の介護・看護や育児の負担が大きいから
5. その他 ()

問18-1で「ある」と答えた方にお聞きします。

問18-3 家庭問題があるとき、自宅に帰れない・帰りたくないと思うことがありますか。

1. 思うことがある ⇒問18-4へ 2. 思うことはない ⇒問19へ

問18-3で「思うことがある」と答えた方にお聞きします。

問18-4 自宅に帰れない・帰りたくないときに、あなたはどのようなところに行きますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 実家(実家を出て暮らしている方のみ) | 6. ホテルなどの宿泊施設 |
| 2. 親戚の家 | 7. 無料低額宿泊所 |
| 3. 友人、知人の家 | 8. 行くあてがなく路上生活 |
| 4. インターネットカフェ、マンガ喫茶 | 9. その他 () |
| 5. 賃貸アパート | 10. 自宅に戻る |

ここからは性被害などのあなたの経験についてお聞きします。これらの質問の中でも答えてくれないと感じた場合は、お答えいただかなくても構いません。性被害とは、「嫌がっているのに性的な行為を強要される・避妊に協力しない・見たくないポルノ映像等を見せられる・痴漢・盗撮」などの同意のない性的な行為のことを指します。

1. 身近な人 みぢか ひと
2. 民間の相談機関 みんかん そうだんきかん
3. 公的な相談機関 こうてき そうだんきかん
4. インターネット上の場所や人 いん たーねっと じょう ばしょ ひと
5. その他 た

問22 で「相談せず自分で何とかする」「相談せず放置する」と答えた方にお聞きします。

問22-2 あなたが相談しない理由を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. どこ(だれに)相談して良いのかわからないから
2. 恥ずかしくてだれにも言えないから
3. 相談しても無駄だと思うから
4. 自分が我慢すれば良いと思うから
5. 自分にも悪いところがあると思うから
6. 相談するほどのことではないと思うから
7. その他 ()

問23 あなたが様々な問題や困りごとを相談するならどのようなところが良いか教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 24時間利用できる場所
2. 相談していることを周りに知られないところ
3. 同じ悩みを抱えている人同士で話せる場所
4. 気軽に立ち寄れる場所
5. 飲み物や食べ物がある場所
6. 1対1で話せる場所
7. 若い人が話を聞いてくれる場所
8. 中高年の人が話を聞いてくれる場所
9. 専門家が話を聞いてくれる場所
(専門分野: ア. 法律 イ. 心理 ウ. お金 エ. 住宅 オ. 学校
カ. 医療 キ. 仕事 ク. 栄養)
10. その他 ()

問24 あなたが希望する相談方法を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 相談場所へ行って対面で相談する
2. 自宅などを訪問してもらって相談する
3. 電話で相談する
4. 手紙でやり取りして相談する
5. メールでやり取りして相談する
6. メール以外のSNSでやり取りして相談する
7. その他 ()

問25 あなたが希望する相談・支援の方法を教えてください。(あてはまるもの3つまで)

1. 話を聞いてくれる(相談支援)
2. 相談や手続きの場所へ同行してくれる(同行支援)
3. 情報提供してくれる(情報提供)
4. 同じ悩みの人と会える(居場所支援)
5. 定期的に様子を見に来てくれる(見守り支援)
6. 他者との関係を調整してくれる、仲裁してくれる(関係調整)
7. 食料や生活用品の支給がある(現物支給)
8. 仕事の体験をさせてもらえる(就労支援)
9. その他()

問26 あなたが、どのようなタイミングで支援を受けたいか教えてください。

1. 困る前から
2. 困ったらすぐ
3. 危機的状況になったら
4. 状況が落ち着いてから
5. その他()

問27 その他、ご意見・ご要望などがあればご記入ください。

次のページに続きます。

ひ あ り ん ぐ ち ょ う さ ヒアリング調査

アンケート調査の結果から、さらに今後どのような支援が必要なのかなどを把握するため、9月・10月にヒアリング調査(インタビュー調査)を行います。

ヒアリング調査にご協力いただける場合は、問28以降をご回答ください。

なお、ヒアリング調査にご協力いただけた方には3千円相当の謝礼をお渡しさせていただきます。

ヒアリング調査の結果は個人が特定されない形で報告書にとりまとめ、ウェブサイト等で公表いたします。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

問28 ヒアリング調査にご協力いただけますか。

1. はい

2. いいえ→以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ヒアリング調査についての連絡を差し上げますので、ご氏名・ご連絡先をご記入ください。

問29 お名前をご記入ください。

姓 () 名 ()

問30 ご連絡先をご記入ください。電話番号・メールアドレス・LINEのIDなど連絡可能なものをいずれかご記入ください。

電話番号 (-)

メールアドレス (@)

LINE ID ()

その他 ()

問31 ヒアリング調査について、ご質問・ご要望などがあればご記入ください。

※ 協力意向のある方が多数の場合、年齢や状況などを勘案し選定させていただくことがございます。ヒアリングの対象となった方には10月中旬までにご連絡差し上げます。

3) 支援関係機関等向け

支援関係機関等向けのアンケートについては、支援関係機関等の種別ごとに質問内容を変えて実施しました。第2部第2章3)にあるとおり、調査結果のうち公表可能なものは公表としていますが、各調査票についてはその内容から非公表としました。

2 インターネット調査票

当アンケートは、名古屋市が、次期DV防止等基本計画及び女性支援新法に基づく市町村計画の一体的な計画の策定を目的として、本市地域における女性のお困りごとや現状、ニーズ等を把握するため、実施するものです。

当アンケートには「暴力の被害など過去のつらい体験」についてお伺いする設問が含まれております。

無理にご回答いただかなくても構いませんし、気分が悪くなったりしそうなときは、回答をそのまま終了していただいて構いません。

尚、当アンケートにより取得した回答結果につきましては、個人が特定されることがないように統計的に処理し、自由記述の回答については個人が特定できるような情報を排除し、その上で調査結果を報告書として取り纏め公表するほか、本調査の目的のみで使用いたします。

本件趣旨にご同意いただける方は、ご回答をお願いいたします。

SC1

あなたの性別についてお聞きします。

あてはまるものを1つお選びください。

1 ☐ 男性

2 ☐ 女性

SC2

あなたの年齢についてお聞きします。

歳

SC3

あなたが現在住んでいる都道府県をお聞きします。

あてはまるものを1つお選びください。

▼

SC4

あなたが現在住んでいる地域についてお聞きいたします。

- 1 ☐ 名古屋市
- 2 ☐ 豊田市
- 3 ☐ 豊橋市
- 4 ☐ 岡崎市
- 5 ☐ 一宮市
- 6 ☐ 春日井市
- 7 ☐ 安城市
- 8 ☐ 西尾市
- 9 ☐ 小牧市
- 10 ☐ 豊川市
- 11 ☐ 稲沢市
- 12 ☐ 半田市
- 13 ☐ 刈谷市
- 14 ☐ 瀬戸市
- 15 ☐ 東海市
- 16 ☐ 大府市
- 17 ☐ 江南市
- 18 ☐ 日進市
- 19 ☐ 北名古屋市
- 20 ☐ その他

SC5

あなたは過去10年以内に次のようなことで困ったり、悩みを抱えたことがありますか。

(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 配偶者・パートナーからの暴力(DV)や、恋人からの暴力(DV)がある
- 2 ☐ 配偶者・パートナー以外の家族から暴力がある
- 3 ☐ 家族とうまくいかない、家族に関する悩みを抱えている
- 4 ☐ 職場や学校等で人間関係がうまく築けない、いじめやハラスメントを受けている
- 5 ☐ 仕事が見つからない、仕事不安定
- 6 ☐ 経済的に困窮している
- 7 ☐ 健康面の不安が大きい
- 8 ☐ 住まいが定まらない、家に居場所がない
- 9 ☐ 孤独・孤立を感じる
- 10 ☐ 性的な被害や悩みを抱えている(性暴力や性的虐待、望まない妊娠など)
- 11 ☐ どれにも当てはまらない

Q1

あなたは、上記のことで、悩みを抱えたときにだれかやどこかに相談しましたか。

- 1 ☐ 相談した
- 2 ☐ 相談しなかった

Q2

Q1で「相談した」と答えた方にお聞きします。

困ったり、悩みを抱えたときにどこに相談しましたか。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 友人・知人
- 2 ☐ 家族・親族
- 3 ☐ 区役所支所(女性福祉相談員など)
- 4 ☐ 配偶者暴力相談支援センター
- 5 ☐ 男女平等参画推進センター(イーブルなごや)
- 6 ☐ 保健センター
- 7 ☐ 医療機関
- 8 ☐ 児童相談所
- 9 ☐ 警察
- 10 ☐ 弁護士
- 11 ☐ 民間支援団体(具体的に:)
- 12 ☐ その他

Q3

Q1で「相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

あなたが相談しない理由を教えてください。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ どこ(だれ)に相談して良いのかわからないから
- 2 ☐ 恥ずかしくて誰にも言えないから
- 3 ☐ 相談しても無駄だと思うから
- 4 ☐ 自分が我慢すれば良いと思うから
- 5 ☐ 自分にも悪いところがあると思うから
- 6 ☐ 相談するほどのことではないと思うから
- 7 ☐ その他

Q4

あなたの現在の生活の満足度を教えてください。

- 1 ☐ 満足している
- 2 ☐ まあ満足している
- 3 ☐ どちらともいえない
- 4 ☐ やや不満である
- 5 ☐ 不満である

Q5

あなたは現在、ストレスや生きづらさを感じていますか。

- 1 ☐ とても感じる
- 2 ☐ まあまあ感じる
- 3 ☐ 少し感じる
- 4 ☐ あまり感じない
- 5 ☐ 感じない

Q6

あなたが様々な問題や困りごとを相談するならどのようなところがよいか教えてください。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 24時間利用できる場所
- 2 ☐ 相談していることを周りに知られない場所
- 3 ☐ 同じ悩みを抱えている人同士で話せる場所
- 4 ☐ 気軽に立ち寄れる場所
- 5 ☐ 飲み物や食べ物がある場所
- 6 ☐ 1対1で話せる場所
- 7 ☐ 若い人が話を聞いてくれる場所
- 8 ☐ 中高年の人が話を聞いてくれる場所
- 9 ☐ 専門家が話を聞いてくれる場所
- 10 ☐ その他

Q6SQ

Q6で「専門家が話を聞いてくれる場所」と回答した方にお伺いします。

相談したい専門家の専門分野をお知らせください。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 法律
- 2 ☐ 心理
- 3 ☐ お金
- 4 ☐ 住宅
- 5 ☐ 学校
- 6 ☐ 医療
- 7 ☐ 仕事
- 8 ☐ 栄養
- 9 ☐ その他

Q7

あなたが希望する相談方法を教えてください。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 相談場所へ行って対面で相談する
- 2 ☐ 自宅などを訪問してもらって相談する
- 3 ☐ 電話で相談する
- 4 ☐ 手紙でやり取りして相談する
- 5 ☐ メールでやり取りして相談する
- 6 ☐ メール以外のSNSでやり取りして相談する
- 7 ☐ その他

Q8

あなたが希望する相談・支援の方法を教えてください。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 話を聞いてくれる(相談支援)
- 2 ☐ 相談や手続きの場所へ同行してくれる(同行支援)
- 3 ☐ 情報提供してくれる(情報提供)
- 4 ☐ 同じ悩みの人と会える(居場所支援)
- 5 ☐ 定期的に様子を見に来てくれる(見守り支援)
- 6 ☐ 他者との関係を調整してくれる、仲裁してくれる(関係調整)
- 7 ☐ 食料や生活用品の支給がある(現物支給)
- 8 ☐ 仕事の体験をさせてもらえる(就労支援)
- 9 ☐ その他

Q9

29歳以下の方にお聞きします。

国では、さまざまな問題を抱え繁華街やSNSなどを通じて性被害にあったりあうおそれのある若年女性を支援する取組をすすめています。

このような女性が支援を受けやすくなるためには、どのような方法があると良いと思いますか。(あてはまるものすべて)

- 1 ☐ 支援者が繁華街など人の多い地域を回る
- 2 ☐ 繁華街など人の多い地域にある相談室で相談を受ける
- 3 ☐ 繁華街など人の多い地域で一食事や生活用品を提供する
- 4 ☐ 繁華街など人の多い地域で一時的な休憩ができる場所を提供する
- 5 ☐ 交通の便利な場所にある相談室で相談を受ける
- 6 ☐ 家に居場所がない若年女性が短期間泊まれる場所を提供する
- 7 ☐ 若年女性が興味を持ちそうな場所で支援の情報提供をする
- 8 ☐ SNSで相談を受ける
- 9 ☐ SNSで支援の情報提供をする
- 10 ☐ その他

名古屋市域における主な相談窓口

【名古屋市】

配偶者暴力相談支援センター 052-351-5388	月～金 10:00～17:00（祝日、年末年始を除く）
DV 被害者ホットライン 052-232-2201	土日祝 10:00～18:00（年末年始を除く）
DV 被害者 SNS 相談 https://dv.city.nagoya.jp	土 12:00～17:00、水 17:00～22:00（祝日、年末年始を除く）
男女平等参画推進センター イーブルなごや相談室 052-321-2760	月・火・金・土・日 10:00～16:00 水 10:00～13:00、18:00～20:00 （祝日、年末年始を除く）

【その他】

性暴力救援センター日赤なごやなごみ 052-835-0753	24時間 365日
-----------------------------------	-----------

※緊急の場合は、ためらわず警察110番へ連絡してください。